

学会だより

◇ 令和3年度 第1回運営委員会議事録

日時：2021年2月20日（土）14:00～17:00

場所：オンライン開催

出席者：大澤良，加藤鎌司，中園幹生，吉岡洋輔，西田英隆，井澤毅，岩田洋佳，津釜大侑，畠山勝徳，小野寺康之，高橋秀和，山根京子，横井修司，久保貴彦，加賀秋人，辻寛之，久保山勉，川浦香奈子，風間智彦，門田有希【20名】

欠席：草場信，那須田周平【2名】

各運営委員会からの活動経過報告の後，以下の事項について審議された。

- ①運営委員会に関する内規の変更（総務）
- ②日本育種学会賞・奨励賞賞状及び副賞の授与方法について（総務）
- ③Webサイトのリニューアル（総務）
- ④育種学研究・BSの印刷部数について（総務）
- ⑤育種学研究のアーカイブ化に関する予算の執行について（会計）
- ⑥令和3年度予算案（会計）
- ⑦寄付の受入に関する情報のWebサイト掲載について（会計）
- ⑧新編集委員の推薦（英文誌）
- ⑨Instruction to Authorsの改定（英文誌）
- ⑩2021年秋季大会の開催方法について（集会）
- ⑪遺伝子組換え作物及びゲノム編集作物の法的な規制および取扱いに関する資料の公開について（LMO/ABS委員会）

◇ 第11回代議員会議事録

日時：2021年3月13日（土）14:00～17:00

場所：オンライン開催

（理事・運営委員・監事・各種委員）

出席者：大澤良，加藤鎌司，山本敏央，中園幹生*，吉岡洋輔，西田英隆，井澤毅，岩田洋佳，津釜大輔，畠山勝徳*，小野寺康之，高橋秀和*，山根京子*，横井修司*，草場信*，久保貴彦*，久保山勉，川浦香奈子，加賀秋人，辻寛之，那須田周平，風間智彦，門田有希，久保友彦，富田因則*【25名】

欠席者：堤伸浩*，経塚淳子【2名】

（代議員）

出席者：貴島祐治，高牟禮逸朗，北柴大泰，畠山勝徳*，赤木宏守，笹沼恒男，高橋秀和*，石本政男，宇賀優作，江面浩，吉田均，福岡修一，新倉聡，房相佑，佐藤正

紀，井藤純，木下哲，高野哲夫，矢野健太郎，三浦孝太郎，山根京子*，掛田克行，中園幹生*，富田因則*，半田裕一，横井修司*，築山拓司，佐藤和広，草場信*，田中裕之，久保貴彦*，藤田大輔【32名】

委任状（議決権行使）：金澤章，緒方大輔，米丸淳一【3名】

欠席：加藤清明，江花薫子，堤伸浩*，清水顕史，松田靖【5名】

〈*役員・委員と代議員を兼任〉

議長：代表理事（大澤良）

議事録：運営委員（西田英隆）

出席者数は代議員会開催の定足数（過半数）を満たしていた。

1. 報告事項

（ア）運営委員会報告（各運営委員）

総務：会員数，冊子発行部数，Webサイト更新回数，メールニュース配信回数，シニア会費制度利用申請，契約（第139回講演会，令和3年度の業務委託），事業監査報告，共催・協賛・後援，各種委員推薦，名誉会員推薦・功労賞授与，賞状・ケースの変更，学会賞・奨励賞賞状及び副賞の授与方法，Webサイトのリニューアル，育種学研究・BSの印刷部数，会議開催予定
科研費：国際情報発信強化（BS科研費），研究成果公開発表（シンボ科研）

会計：2020年度決算報告

編集（英文誌）：編集状況，特集号の進捗と予定，企画総説，BS科研費への対応，Instruction to Authorsの改訂，Editorial Manager等の改善，その他検討事項

編集（和文誌）：編集状況，育種学研究のアーカイブ化
集会：2021年春季大会，今後の大会開催予定が報告された。2022年秋季春季大会は，佐賀大学・穴井豊昭氏の異動に伴い，摂南大学・奥本裕氏を大会委員長とする開催（学会と摂南大学農学部との共催を検討中）に変更することが紹介された。

記者発表：第139回講演会記者発表，記者発表対象課題，記者発表希望演題数，記者発表における情報公開日の設定について報告があった。また，記者発表での説明を演題発表者自身に依頼することを検討する旨の報告があった。

LMO/ABS委員会：LMO/ABS委員会作成資料の公開に向けた準備状況について，運営委員と三役による資料のチェックを進めていることが報告された。

農学会：第92回日本農学大会（4月6日オンライン開催），2021年度農学会シンポジウム，2022年度シンポジウムテーマの募集

地域：各地域の活動報告

- (イ) 令和2年度事業報告について
- (ウ) 令和元年度事業・会計監査結果の報告

2. 審議事項

- (ア) 通常決議議案：運営委員会に関する内規の変更（総務）

投票による審議の結果、代議員出席者の全会一致により承認された。

- (イ) 通常決議議案：令和3年度シンポジウム委員について（総務）

投票による審議の結果、代議員出席者から多数の賛成を得て、現委員に次期委員を委嘱（任期を1年延長）することが承認された。これにより、下記会員に令和3年度シンポジウム委員を委嘱することになった。

久保友彦，草場信氏，土井一行，岩田洋佳，横井修司（敬称略）

- (ウ) 通常決議議案：令和3年度学会賞等選考委員について（総務）

投票により、得票数が上位であった次の6名が選出された。

当選：堤伸浩，佐藤和広，石本政男，中園幹生，貴島祐治，江面浩（敬称略）

次点：新倉聡，草場信（敬称略）

- (エ) 通常決議議案：2021年度（令和3年度）予算案（会計）

投票による審議の結果、代議員出席者の全会一致により承認された。

- (オ) 通常決議議案：新編集委員の推薦（編集（英文誌））

投票による審議の結果、代議員出席者から多数の賛成を得て、下記4名の新編集委員の就任が承認された。

Kuldeeb Singh, Aladdin Hamwih, 小野木章雄, 辻寛之（敬称略）

3. その他

- (ア) 関連報告

①学会賞等選考委員会

日本農学会農学進歩賞の候補として本会から推薦した門田有希氏の受賞と、他機関から推薦された田中若菜氏の受賞が報告された。日本学術振興会賞への推薦の申請が1件あり、学会賞等選考委員会に諮ることが報告された。

②シンポジウム委員会

2021年秋季大会（弘前大学）では、ワークショップ・シンポジウムを開催する方向で検討中であることが報告された。

③男女共同参画推進委員会

2021年秋季大会では、ジェンダーに対する unconscious bias をテーマとするセミナーを計画中であるとの報告があった。

④日本学術会議育種分科会委員

ゲノム編集等に関するシンポジウム開催が検討されて

いることが紹介された。また、「日本学術会議のよりよい役割発揮に向けて」に関するアンケート依頼に対して、日本学術会議の活動内容や科学者の代表機関であることを一層周知するために情報発信力強化が必要との提言をしたこと、ゲノム編集等の新技術への積極的なアプローチに対する協力を求めたことが報告された。

⑤公益財団法人農学会農学教育推進委員会委員

JABEE について、昨年度は各大学に出向いての実地審査が不可能であり、今年度は5月～11月にかけてオンラインを中心に審査を行うこと、それに先立つ書面審査が始まっていることが報告された。

- (イ) その他

総務から第139回講演会における優秀発表賞の投票依頼があった。

◇ 臨時代議員会（メール審議）報告

日時：2021年4月12日（月）～16日（金）

1. 審議事項

- (ア) 日本育種学会賞受賞者名の変更について

審議の結果、令和3年日本育種学会賞受賞者の「水稲品種『つや姫』育成グループ」の名称を「山形農総研水田農業試験場水稲品種『つや姫』育成グループ」に変更することが承認された。

◇ 令和2年日本育種学会賞・奨励賞賞状および副賞の授与について

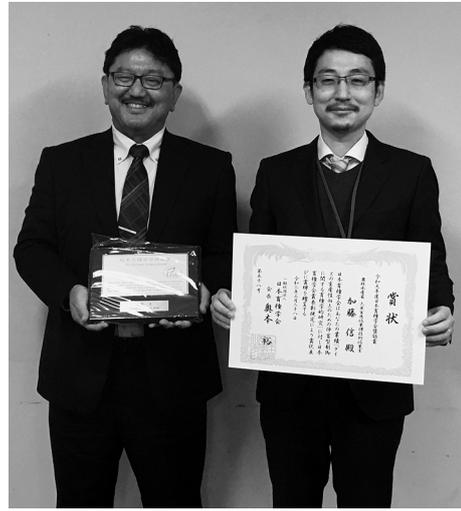
新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年日本育種学会賞・奨励賞の授与式が中止になったため、一部の受賞者には前会長および現会長による出張授与式を実施しました。また、都合がつかず、出張授与式が行えなかった受賞者には賞状および副賞を郵送でお送りしました。



日本育種学会賞（第142号） 穴井豊昭氏



日本育種学会賞（第143号）井澤毅氏



日本育種学会奨励賞（第58号）加藤信氏



日本育種学会賞（第144号）タキイ種苗株式会社トマト育種チーム（代表者：加屋隆士氏）



日本育種学会奨励賞（第59号）大木信彦氏



日本育種学会奨励賞（第57号）山口直矢氏

◇ 第139回講演会選定課題記者発表報告

発表日時：令和3年3月12日（金）10:30～12:00

発表場所：オンライン開催

出席者：中園幹生（幹事長），津釜大侑（運営委員）

参加報道機関：化学工業日報社，日経BP，日本農業新聞社，日本放送協会（報道局科学文化部），科学新聞社の計5社（5名）

発表タイトル（記者発表）：

- (1) 日本が誇る切り花トルコギキョウ
 - (2) お手頃予算で全ゲノム解読～ナノポアシークエンサーによるメロンゲノム解読
 - (3) 有用成分生合成の鍵となる酵素の発見～ダイズサポニン生合成経路の全容解明～
 - (4) 世界で初めてイネごま葉枯病に強い水稻品種を育成
- 講演タイトル（第139回講演会）：

- (1) 115「ユーストマの全ゲノム解読とDNAマーカー

開発]

川勝恭子¹, 豊田敦², 永野惇³, 川勝泰二⁴, 中野善公¹, 今村仁⁵, 福田直子¹, 久松完¹, 山口博康¹, 望月孝子², 谷澤靖洋², 坂本美佳², 中村保一² (1. 農研機構, 2. 国立遺伝学研究所, 3. 龍谷大学, 4. 農研機構・生物機能利用部門, 5. 農研機構・九州沖縄農業研究センター)

(2) 123 「ナノポアによるアールスフェポリットメロンの全ゲノム解読と複数遺伝資源の比較ゲノム解析」

矢野亮一^{1,2}, 有泉亨^{2,3}, 野中聡子^{2,3}, 川頭洋一⁴, 江面浩^{2,3} (1. 農研機構・解析セ, 2. 筑波大・生命環境, 3. 筑波大・T-PIRC, 4. 農研機構・野花研)

(3) 402 「共発現解析によるサポニンの生合成に関わる新規配糖化酵素の発見」

石本政男¹, 藤澤由紀子¹, Soo Yeon Chung², 關光^{2,3}, 下田宜司⁴, 平賀勲¹, 野村勇太², 斉藤和季^{3,5}, 村中俊哉^{2,3} (1. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 2. 大阪大・院工学研究, 3. 理化学研究所・環境資源科学研究センター, 4. 農研機構・生物機能利用研究部門, 5. 千葉大・院薬学研究)

(4) P11-B 「イネごま葉枯病抵抗性を有する水稻新品種「みえのゆめBSL」の育成」

松本憲悟¹, 太田雄也¹, 山川智大¹, 大野鉄平^{1,2}, 瀬田聡美¹, 本多雄登¹, 溝淵律子³, 佐藤宏之^{3,4} (1. 三重県農業研究所, 2. 三重県桑名地域農業改良普及センター, 3. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 4. 農林水産省)

記者発表の報告:

令和3年3月19日(金), 20日(土)及び21日(日)にオンラインで開催される日本育種学会第139回講演会の講演課題(計198課題)の中から, 運営委員会で選定された上記4課題について, 記者発表を実施した。記者発表後, 講演番号115, 402, P11-Bに関する記事が日本農業新聞に掲載された(掲載日はそれぞれ3/14, 4/27, 3/16)。また, 講演番号115の記事が日本種苗新聞において掲載される予定である(5/21または6/1)。

◇ 第139回講演会日本育種学会優秀発表賞報告

2021年日本育種学会春季大会(第139回講演会)における日本育種学会優秀発表賞が下記の9演題に決定された。

講演番号 125: 倍数体用新規GWAS法を利用したサツマイモネコブセンチュウレースSP2抵抗性に関する遺伝領域の同定

☆小島望美¹, 笹井瑠美¹, 田淵宏朗², 山本英司³, 白澤健太⁴, 田原誠¹, 門田有希¹ (1. 岡山大・院環境生命科学, 2. 農研機構・九州農研, 3. 明治大・院農, 4. かずさDNA研)

講演番号 127: ゲノムワイド関連解析によるエンドウの

莢可食性関連形質のマッピング

☆佐々木祥子¹, 白澤健太², 殿崎薫¹, 高畑義人¹, 畠山勝徳¹ (1. 岩手大・農, 2. かずさDNA研究所)

講演番号 201: イネにおける可塑的な側根メリステムサイズ制御機構の解析

☆河合翼¹, 赤星良輔², 高橋(野坂)美鈴³, 高橋宏和¹, 佐藤豊³, 中園幹生¹, 山内章¹, 犬飼義明⁴ (1. 名大・院生命農学, 2. 名大・農学, 3. 遺伝研, 4. 名大・農国センター)

講演番号 220: 果実の画像解析を用いたカンキツ剥皮性のモデル化

☆南川舞¹, 野中圭介², 浜田宏子², 清水徳朗², 岩田洋佳¹ (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 農研機構・果樹茶業研究部門)

講演番号 325: イネにおける根特異的発現性を示す遺伝子の発現量を制御するシス配列の探索

☆神野恭輔¹, 河合翼¹, 土井一行¹, 犬飼義明² (1. 名大・院生命農学, 2. 名大・農国センター)

講演番号 407: イネにおける穂の分枝パターンを制御するqPbn3の遺伝学的研究

☆縣歩美^{1,2}, 武田泰実², 太田自由², 土井一行², 犬飼義明³, 槇原大悟³, 佐藤豊¹, 北野英己⁴, 保浦徳昇⁴ (1. 国立遺伝学研究所, 2. 名大院生命農学, 3. 名大農国センター, 4. 名大生物機能開発利用研究センター)

講演番号 415: temperature sensitive hybridbreakdown1はイネ品種間の交雑後代で雑種崩壊を引き起こす

☆若林妙恵, 米谷侑樹, 加藤清明(帯広畜産大学)

講演番号 418: 細胞質雄性不稔性トマトは花粉発芽時特異的に形態異常を示す

☆桑原康介¹, 原田壱成¹, 松澤佑馬², 飯岡真司², 白澤健太³, 有泉亨⁴ (1. 筑波大・院生命環境科学, 2. トキタ種苗, 3. かずさDNA研究所, 4. 筑波大・生命環境系)

講演番号 P61-A: イネ茎頂メリステムと葉の多検体トランスクリプトームによる成長トラジェクトリの解明

☆吉田綾¹, 保坂碧¹, 吉田明希子^{1,2}, 井藤純¹, 辻寛之¹ (1. 横浜市立大学木原生物学研究所, 2. 東京農工大学)

◇ 地域談話会だより

〈北海道地区〉

令和2年度 日本育種学会北海道談話会年次講演会, 総会および公開シンポジウム(日本作物学会北海道支部会と共催)が2020年12月5日(土)にオンラインで開催された。一般講演37課題および総会が行われた。さらに, 審査の結果, 一般講演から優秀発表賞2件および奨励賞4件として, 以下の課題が選出された。

優秀発表賞

多穂形質が子実用トウモロコシの登熟特性に及ぼす影

響. 山口寛登¹, 松井康眞², 石山志穂¹, 伊藤響子¹, 河野龍悟¹, 服部遙子¹, 市川伸次³, 柏木純一¹, 山田敏彦³, 中島大賢² (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大FSC)

イネ品種間の交雑で生じる温度感受性の雑種崩壊に関わる *thb1* の単離. 若林妙恵, 加藤清明 (帯畜大)

奨励賞

イネデンプン合成関連遺伝子 *CRCT* のパレイショにおける機能解析. 永山大貴¹, 林龍之介¹, 横山音¹, 志村華子¹, 森田隆太郎², 深山浩³, 藤野介延¹ (1. 北大院農, 2. 東大院農, 3. 神戸大院農)

北海道とポーランドのダイズ品種を由来とする有望系統「十育 273 号」の開花期耐冷性. 高橋春南, 山口直矢 (道総研十勝農試)

ソバの成熟温度とアミロース含有率の関係. 大塚しおり¹, 石黒浩二¹, 原尚資¹, 鈴木達郎², 野田高弘¹ (1. 農研機構北農研, 2. 農研機構九沖研)

スパース推定法によるアズキ草型特性と機械収穫損失の関係解析. 細川優介, 長澤秀高, 関口建二, 堀内優貴 (道総研十勝農試)

発表は, 以下の通りである.

(1) 一般講演 2020 年 12 月 5 日 (土) 9:00 ~ 15:35
オンライン開催

1. 狭畦密植化で糖量が増加するテンサイ F1 の生育パターン. 松平洋明, 岡崎和之, 成廣翼, 黒田洋輔 (農研機構北農研)

2. テンサイの酸性土壌耐性評価の試み: パーミキュライト養液耕の検討. 成廣翼, 松平洋明, 岡崎和之, 黒田洋輔 (農研機構北農研)

3. ガーデンビート遺伝資源における稔性回復遺伝子の多様性. 鹿俣陽平, 柏倉淳, 北崎一義, 久保友彦 (北大院農)

4. 深川市におけるヒヨコマメの栽培可能性. 飯沼未樹, 大道雅之 (拓殖短大)

5. ラッカセイ自家採種種子における採種, 保管条件が出芽に及ぼす影響. 親川理貴, 大道雅之 (拓殖短大)

6. 北海道におけるテフ (*Eragrostis tef*) 栽培の可能性. 武内仁¹, 松橋聖倫², 平地彩奈², 田中英彦¹ (1. 拓殖短大, 2. 拓殖大)

7. 水稲直播栽培における携帯型 NDVI センサー値と見た目値の比較. 影山新羅, 高橋紫旺, 永峯寛大, 岡田佳菜子 (拓殖短大)

8. 水稲湛水直播栽培における品種ごとの倒伏特性. 笹原我斗, 佐藤成泰, 岡田佳菜子 (拓殖短大)

9. 高温と干ばつがパレイショ品種の根系と地上部および塊茎生長の関係に及ぼす影響. 岩間和人 (北大)

10. イネデンプン合成関連遺伝子 *CRCT* のパレイショにおける機能解析. 永山大貴¹, 林龍之介¹, 横山音¹, 志村華子¹, 森田隆太郎², 深山浩³, 藤野介延¹ (1. 北大院農, 2. 東大院農, 3. 神戸大院農)

11. パレイショマイクロチューバーを活用した塊茎の初期肥大性の推定. 岡本智史, 浅野賢治, 下坂悦生, 赤井浩太郎, 片山健二 (農研機構北農研)

12. 千鳥播および摘心栽培がダイズ早生品種の収量, 生育に及ぼす影響. 松井俊樹, 伊藤秀斗, 飛谷淳一, 義平大樹 (酪農大)

13. ダイズ品種「ユキホマレ」および「ユキシズカ」における千鳥播栽培が生育, 収量に及ぼす影響. 一慣行および狭畦栽培との比較. 飛谷淳一, 平栗裕大, 神村祐大, 義平大樹 (酪農大)

14. 北海道とポーランドのダイズ品種を由来とする有望系統「十育 273 号」の開花期耐冷性. 高橋春南, 山口直矢 (道総研十勝農試)

15. 北海道品種に近い農業形質を持つ雌性不稔ダイズ系統の開発. 山口直矢¹, 相馬ちひろ², 加賀秋人³ (1. 道総研十勝農試, 2. 道総研中央農試, 3. 農研機構次世代作研)

16. 多穂形質が子実用トウモロコシの登熟特性に及ぼす影響. 山口寛登¹, 松井康眞², 石山志穂¹, 伊藤響子¹, 河野龍悟¹, 服部遙子¹, 市川伸次³, 柏木純一¹, 山田敏彦³, 中島大賢² (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大FSC)

17. 緩効性肥料が道央向け子実用トウモロコシの生育および収量性に及ぼす影響. 松井康眞¹, 山口寛登², 服部遙子², 河野龍悟², 石山志穂², 伊藤響子², 市川伸次³, 竹村紘⁴, 篠原禎忠⁴, 柏木純一², 山田敏彦³, 中島大賢² (1. 北大農, 2. 北大院農, 3. 北大FSC, 4. ホクレン農総研)

18. ヘアリーベッチのシアナミドが後作物の初期生育に及ぼす影響. 内林大志¹, 平田聡之² (1. 北大院環境, 2. 北大FSC)

19. 秋まき小麦新品種「北見 95 号」の収量変動要因. 大西志全¹, 粕谷雅志^{1,2}, 其田達也¹, 木内均¹, 神野裕信^{1,3}, 佐藤優美¹, 荒木和哉¹ (1. 道総研北見農試, 2. 道総研上川農試, 3. 道総研農研本部)

20. 春まき小麦育種における少量製粉 (ブラベンダージュニアテストミル) による製パン適性評価. 足利奈奈, 林和希, 大西志全, 荒木和哉 (道総研北見農試)

21. 北海道における秋まきコムギのなまぐさ黒穂病抵抗性育種の可能性. 来嶋正朋¹, 神野裕信², 大西志全³ (1. 道総研上川農試, 2. 道総研農業研究本部, 3. 道総研北見農試)

22. 北海道の春播き環境における多様なコムギ系統の栽培・収量特性に関する研究. 加藤綾乃¹, 井上佳子¹, 原田和泉¹, 市川伸次², 中島大賢¹, 安萍³, 柏木純一¹ (1. 北大院農, 2. 北大FSC, 3. 鳥大乾地研)

23. スペルトコムギ由来の難脱穀性遺伝子 *q* における農業的有用性の検証. 平田博史¹, 安達直輝¹, 一政南美¹, 三浦秀穂¹, 八田浩一², 大西一光¹ (1. 帯広畜産大, 2. 農研機構北農研, 芽室)

24. 長稈性秋播性ライムギの子実収量および倒伏に及ぼす窒素施肥配分および播種量の影響. 杉之内樹¹, 秋本正博², 義平大樹¹ (1. 酪農大, 2. 帯畜大)
25. 北海道育成春播性コムギにおける新旧品種の比較成長解析と受光態勢. 近藤颯, 義平大樹 (酪農大)
26. 秋播性ライコムギの2期作栽培による粗飼料および子実生産. 義平大樹¹, 岡本成¹, 秋本正博² (1. 酪農大, 2. 帯畜大)
27. ソバの成熟温度とアミロース含有率の関係. 大塚しおり¹, 石黒浩二¹, 原尚資¹, 鈴木達郎², 野田高弘¹ (1. 農研機構北農研, 2. 農研機構九州研)
28. スパース推定法によるアズキ草型特性と機械収穫損失の関係解析. 細川優介, 長澤秀高, 関口建二, 堀内優貴 (道総研十勝農試)
29. 北海道水稲品種「しおかり」と「キタアケ」のガンマー線照射によって誘発した粒大変異体の遺伝解析. Joseph Enoch Garcon¹, 高橋奈那², 川原千佳², 高牟禮逸朗^{1,3} (1. 北大院国際食資源, 2. 北大農, 3. 北大院農)
30. イネの育種家種子において発生したアルビノ形質と原因遺伝子の同定: 種子管理の方法についての考察. パリンポニャ エリアス¹, 金岡義高¹, 坂口俊太郎¹, 小出陽平¹, 永吉嘉文², 貴島祐治¹ (1. 北大農, 2. 宮崎県農試)
31. 北海道イネ品種に見出された低温による胚乳登熟過程での遺伝的形態異常. Chengfang Zhan, 山森晃一, 小出陽平, 貴島祐治 (北大農)
32. ゲノムシーケンスとイネ品種育成. 藤野賢治 (農研機構北農研)
33. 北海道水稲品種の草型改良の歴史とこれから. 池ヶ谷智仁 (農研機構北農研)
34. イネ品種間の交雑で生じる温度感受性の雑種崩壊に関わる *thb1* の単離. 若林妙恵, 加藤清明 (帯畜大)
35. 葉面温度測定による北海道水稲の多収選抜の可能性について. 西村努¹, 佐藤博一¹, 木下雅文², 漆畑裕次郎^{2,3}, 熊谷聡² (1. 道総研中央農試, 2. 道総研上川農試, 3. 現道総研花野セ)
36. ホウレンソウ近縁野生種の Y 染色体における組換え抑制領域の同定. 藤田拓希², 杉山優¹, 岡崎洋助², 小野寺康之² (1. 北大農, 2. 北大院農)
37. 北海道におけるもち性大麦の栽培適性. 竹之内悠, 田中由紀, 井田悠太, 梶田淳史 (ホクレン農総研)

〈東北地区〉

令和2年12月12日(土)に第15回東北育種研究集会(運営委員長:高橋秀和)がオンラインで開催されました。ポスター発表(28題)のみのプログラムとなりましたが、東北地区7県から52名の参加がありました。審査員7名の投票により優秀ポスター賞2題を選定し、オンラインで表彰しました。

- A2 イネ *Tadukan* 型細胞質雄性不稔性のミトコンドリア原因遺伝子 *orf312* の同定
☆高塚歩¹, 風間智彦², 有村慎一³, 鳥山欽哉¹ (1. 東北大・院・農, 2. 現:九州大・院・農, 3. 東大・院・農生命)
- B5 イネ穂発芽耐性量的形質遺伝子座 *qSdr6a* の責任遺伝子の同定
☆佐野舜一¹, 飯島信繁¹, 杉本和彦², 星野友紀¹ (1. 山形大院・農・生物資源, 2. 農研機構・次世代作物開研セ)

開催の詳細は以下の通りです。

1. 日時: 令和2年12月12日(土) 13:30 ~ 15:30
2. オンラインアプリ: LINC Biz, Zoom
3. プログラム

13:25 開会

13:30 ポスター発表

15:30 優秀ポスター賞表彰式・閉会

4. ポスター発表演題リスト (☆: 優秀ポスター賞エントリー発表者, ○: 発表者)

A1 根こぶ病抵抗性遺伝子 *Crr1b* 候補 ORF の集積による過敏感反応様形質の誘導. ☆秋田谷茉那¹, 高橋美紗子^{1,3}, 松元哲², 殿崎薫¹, 畠山勝徳¹ (1. 岩手大・農, 2. 農研機構・野菜花き部門, 3. 現雪印種苗(株))

A2 イネ *Tadukan* 型細胞質雄性不稔性のミトコンドリア原因遺伝子 *orf312* の同定. ☆高塚歩¹, 風間智彦², 有村慎一³, 鳥山欽哉¹ (1. 東北大・院・農, 2. 現:九州大・院・農, 3. 東大・院・農生命)

A3 日本のネットメロンにおける可溶性固形物含量の遺伝と連鎖分析. ☆佐藤奈乃佳¹, 田中克典¹, 明石由香利², 石川隆二¹, 西田英隆², 加藤鎌司² (1. 弘前大・農生, 2. 岡山大・院環境生命)

A4 スターチシンターゼ (SS) IIIa/ 枝作り酵素 (BE) IIb 二重変異体にインディカ米由来の遺伝子を導入した #1206 系統の戻し交配による農業形質の向上と胚乳澱粉の特性解析. ☆三浦聡子, 成田真衣子, 伊藤優季, クロフツ尚子, 保坂優子, 追留那緒子, 阿部美里, 藤田直子 (秋田県立大学生物資源科学部)

A5 *orf352* を持つ RT102 型および WA 型細胞質雄性不稔性イネの分遺伝学的比較. ☆大向詩穂¹, 鳥山欽哉¹, 有村慎一², 風間智彦^{1,3} (1. 東北大・院・農, 2. 東大・院・農生命, 3. 現: 九大・院・農)

A6 暗条件下でのタンパク質生産に適したイネ栽培条件の探索. ☆渡邊明子¹, 畑中佳乃^{2,3}, 竹島幸乃^{2,4}, 佐々木華凜^{2,5}, 高橋乃愛^{2,6}, 伊藤幸博^{1,2} (1. 東北大・農, 2. 東北大・科学者の卵養成講座, 3. 高崎女子高, 4. 秋田高, 5. ルネサンス高, 6. 酒田東高)

A7 Differences in TuMV resistance among *Brassica rapa* accessions and polymorphisms of translation initiation factor *eIF4Es*. ☆ A. Tian, M. Yamamoto, H. Takahashi, and H.

Kitashiba (Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University)

B1 中国雲南省南西部の在来メロンにおける遺伝的構造. ☆南雲美德¹, 鈴木真唯¹, 田中克典¹, 明石由香利², 山本達也³, 吉野熙道⁴, 石川隆二¹, 龍春林⁵, 加藤鎌司² (1. 弘前大, 2. 岡山大・院環境生命, 3. 萩原農場, 4. 昆明植物研, 5. 中国中央民族大)

B2 稲わらの高糖化性遺伝子のマッピング. ☆小野彩花, 伊藤叶裕, 阿部友美, 伊藤幸博 (東北大・院・農)

B3 イネミトコンドリアの分裂に関するダイナミン様タンパク質をコードする *OsDRP3A* のゲノム編集とゲノム編集体の解析. ☆関根聡, 鳥山欽哉 (東北大・院・農)

B4 遺伝子組換えイネを用いた麴菌の両親媒性タンパク質 RoIA 生産の試み. ☆大田原有咲, 伊藤幸博 (東北大・農)

B5 イネ穂発芽耐性量的形質遺伝子座 *qSdr6a* の責任遺伝子の同定. ☆佐野舜一¹, 飯島信繁¹, 杉本和彦², 星野友紀¹ (1. 山形大院・農・生物資源, 2. 農研機構・次世代作物開研セ)

B6 日本および台湾在来ナス品種の果実形状多様性. ☆中川陸司¹・高橋秀和²・上田健治³・渡辺明夫³・赤木宏守³・櫻井健二³ (1. 秋田県大・院生物資源科学, 2. 福島大・農学群食農学, 3. 秋田県大・生物資源科学)

B7 イネの花粉形成に重要な新規遺伝子の解析. ☆高木駿弥¹, 櫻井健二², 渡辺明夫², 赤木宏守², 上田健治² (1. 秋田県大・院生物資源, 2. 秋田県大・生物資源)

B8 ダイズにおける *ddm1* 変異体の遺伝分析. ☆白石佳那¹, 高橋一輝³, 丸小知歩³, 黒田隆太³, 加賀秋人², 岡崎桂一³, 深井英吾³ (1. 新潟大院・自然科学, 2. 農研機構・次世代作物, 3. 新潟大・農)

C1 イネ品種 Lebed に台中 65 号を戻し交雑して得られた雄性不稔系統における原因候補遺伝子の機能推定. ☆藤田悠生¹, 市田裕之², 風間智彦^{1,3}, 阿部知子², 鳥山欽哉¹ (1. 東北大・院・農, 2. 理研・仁科センター, 3. 現: 九大・院・農)

C2 エンドウにおける不可食性莢にみられる厚壁組織形成に関する遺伝子座のマッピング. ☆佐々木祥子¹, 白澤健太², 殿崎薫¹, 高畑義人¹, 畠山勝徳¹ (1. 岩手大・農, 2. かずさ DNA 研究所)

C3 ダイコン *class II S* ハプロタイプ間の花側における遺伝学的優劣性の調査. ☆石井朝子, 山本雅也, 北柴大泰 (東北大学農学研究科)

C4 セイヨウナタネにおける発芽時の ABA 反応と耐塩性の関連性及び ABA 経路遺伝子の発現解析. ☆朱星宇, 山本雅也, 北柴大泰 (東北大学)

C5 ダイコンの一英種子数と一雌蕊胚珠数に関連する遺伝子座の同定. ☆薛会叢, 朱星宇, 小林寛人, 山本雅

也, 北柴大泰 (東北大学農学研究科)

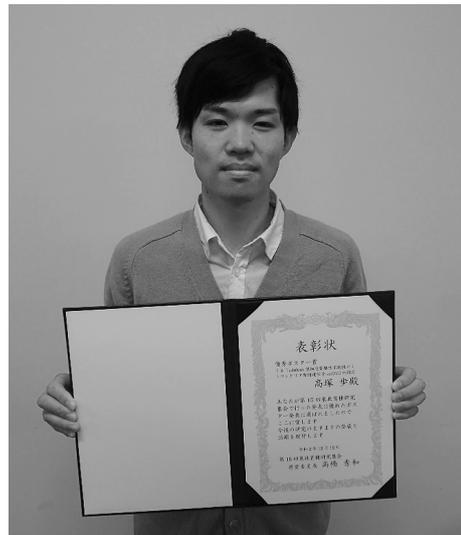
C6 次世代シーケンズデータを活用した *nDart* トランスポゾン転移の追跡. ☆小寺健児, 佐々木瞭太, 石川隆二 (弘前大学農学生命科学部)

C7 アジ化ナトリウムによる胚乳変異体の効率的探索方法. ☆佐々木瞭太, 石川隆二 (弘前大学農学生命科学部)

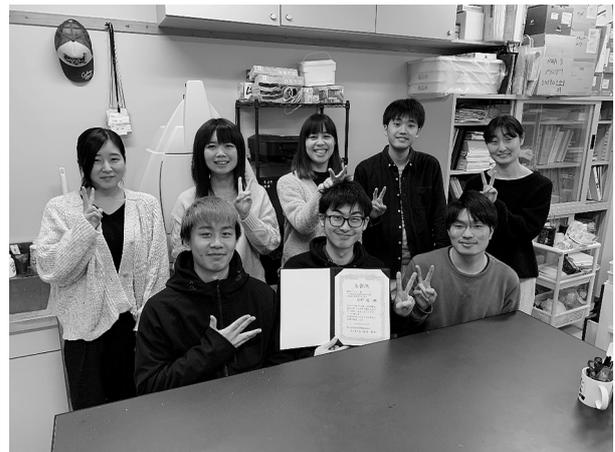
C8 ダイコンにおける形質転換系の確立. ☆尾形圭介, 殿崎薫, 畠山勝徳 (岩手大学農学部)

D1 キルギス共和国におけるウリ科遺伝資源探索とメロン遺伝資源の多様性. ○田中克典¹, 嘉見大助², Nazgul Zhumakadyrova³, Bermet Imanbaeva³, Adilet Usupbaev⁴, 吉岡洋輔⁵, 友岡憲彦⁶, 加藤鎌司⁷ (1. 弘前大・農生, 2. 農研機構・北農研セ, 3. キルギス農作物専門部門, 4. キルギス科学院・生物研, 5. 筑波大・生命環境系, 6. 農研機構・遺伝資源セ, 7. 岡山大・院環境生命)

D2 イネのポリコム複合体因子 *OsEMF2a* は受精前後



高塚 歩氏



佐野 舜一氏

の胚乳発生を制御する。○殿崎薫¹、畠山勝徳¹、木下哲² (1. 岩手大・農, 2. 横浜市大・木原生研)

D3 イネのカルスからのシュート再分化過程でサイトカイニン情報伝達系に直接発現誘導される遺伝子の同定。成瀬正志、高橋ほなみ、○伊藤幸博 (東北大・農)

D4 ダイコン晩抽性に関連する *FLC* 遺伝子の新たな構造多型の探索。森萌香、田阪初音、山本雅也、○北柴大泰 (東北大学農学研究科)

D5 トウガラシ非赤色果実色の原因となる *Ccs* 遺伝子上流大規模欠失の種間遺伝子浸透。○笹沼恒男^{1,2}、大森史歩¹、鶴巻啓一^{1,2} (1. 山形大・農, 2. 岩手大・院連合農学)

〈中国地区〉

2020年12月12日(土)、第12回中国地域育種談話会がオンラインで開催された(大会委員長:岡山大学資源植物科学研究所・久野裕)。参加人数69名、講演会3題、口頭発表4題、ポスター発表27題であった。優秀発表賞は、福嶋七海(O01)、Mohammed Yousif Balla Abdalla(O02)、小島望美(O03)、白井一正(O04)、豊留龍也(P11)、伊藤岳(P13)の6名に授与された。また、次回(第13回中国地域育種談話会)は、伊藤美環子氏(農研機構西日本農業研究センター)を大会委員長として開催されることになった。

【開催概要】

開催日時:2020年12月12日10時~17時10分

場所:オンライン(岡山大学資源植物科学研究所)

後援:大原奨農会

【プログラム概要】

開会挨拶(久野裕)

講演会 L01・L02(座長 最相大輔)

ポスター発表者によるフラッシュトーク(座長 久野裕)

講演会 L03・口頭発表(座長 松島良)

ポスター発表

閉会挨拶(草場信)

【講演会】

L01 商業育種論 品種改良にもっと光を
竹下大学(技術士(農業部門))

L02 Breeding for low cadmium barley by introgression of a Sukkula-like transposable element

○Gui Jie Lei, Miho Fujii-Kashino, Hiroshi Hisano, Daisuke Saisho, Kazuhiro Sato, Jian Feng Ma (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)

L03 アフリカイネ遺伝資源を利用した育種学研究をしていたらバイオフィーマティションになった話

○古田智敬¹・芦荊基行²・山本敏央¹ (1. 岡山大学資

源植物科学研究所, 2. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター)

【口頭発表】

O01 オオムギ匍匐性の表現型解析および DArTseq を用いた QTL マッピング。○福嶋七海¹・下戸航平²・西田英隆²・加藤鎌司² (1. 岡山大農, 2. 岡山大院環境生命)

O02 Harnessing the genetic diversity of wild emmer wheat for genetic improvement of durum wheat。○Mohammed Yousif Balla Abdalla¹, Yasir Serag Alnor Gorafi^{2,3}, Nasrein Mohamed Kamal^{2,3}, Izzat Sidahmed Ali Tahir³ and Hisashi Tsujimoto² (1. United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, 2. Arid Land Research Center, Tottori University, 3. Agricultural Research Corporation, Sudan)

O03 倍数体用新規 GWAS 法を利用したサツマイモネコブセンチュウレース SP2 抵抗性に関する遺伝領域の同定。○小島望美¹・笹井瑠美¹・田淵宏朗²・山本英司³・白澤健太⁴・磯部祥子⁴・田原誠¹・門田有希¹ (1. 岡山大・院環境生命科学, 2. 農研機構・九沖農研, 3. 明治大・院農, 4. かずさ DNA 研)

O04 日本栽培ダイコンの起源を探る。○白井一正¹・石塚航²・手塚あゆみ³・豊田敦⁴・小林伸雄⁵・河田雅圭⁶・川北篤⁷・村上哲明⁸・藤山秋佐夫⁴・清水みなみ⁹・鈴木穰⁷・彦坂幸毅⁶・森長真一¹⁰・花田耕介^{1,5} (1. 九工大, 2. 道総研, 3. 龍谷大・農, 4. 遺伝研, 5. 島根大, 6. 東北大・生命, 7. 東大, 8. 東京都立大・理, 9. 理研 CSRS, 10. 日大・生物資源)

【ポスター発表】

P01 澱粉粒の形状に異常を示すオオムギ突然変異体の澱粉特性評価。○松島良¹・久野裕¹・追留那緒子²・藤田直子²・佐藤和広¹ (1. 岡山大植物研, 2. 秋田県立大学)

P02 野生オオムギの六条化が分げつ数と種子休眠性に与える影響。○梅本宏輝¹・小松田隆夫²・佐久間俊¹ (1. 鳥取大学農学部, 2. 農研機構作物研)

P03 サツマイモ澱粉の低温糊化性に関する遺伝様式の解明と原因変異の探索。○多田健太郎¹・田中勝²・小林晃²・門田有希¹ (1. 岡山大・院環境生命科学, 2. 農研機構・九沖農研)

P04 サツマイモネコブセンチュウ抵抗性を制御する新規候補遺伝子の配列解析。○泉谷真¹・大畑慎一郎²・田淵宏朗³・門田有希² (1. 岡山大・農, 2. 農研機構・九沖農研, 3. 岡山大・院環境生命科学)

P05 ゲノムワイドな多型情報を利用したサツマイモ品種識別マーカーの開発。○柿木菜歩¹・田中勝²・ハクエムダドゥル²・白澤健太³・磯部祥子³・門田有希⁴ (1. 岡山大・農, 2. 農研機構・九沖農研, 3. かずさ DNA

研, 4. 岡山大・院環境生命科学)

P06 小麦粉生地を弱くする *Thinopyrum elongatum* 由来 4E 染色体の添加による種子貯蔵タンパク質発現への影響とコムギ-4E ロバートソン型転座染色体の開発. ○宮本和紀¹・小谷貴恵²・佐久間俊²・田中裕之² (1. 鳥取大院・持続性社会創生科学, 2. 鳥取大・農)

P07 アジアのパンコムギにおける高アミロース系統の探索. ○岡保賢士¹・田中悠²・田中裕之² (1. 鳥取大院・持続性社会創生科学, 2. 鳥取大・農)

P08 チップ栽培を利用したコムギのスピードブリーディングについて. ○内田孝三¹・辻本壽² (1. 鳥取大院・持続性社会創生, 2. 鳥取大・乾地研)

P09 糸状菌 *Colletotrichum tofieldiae* (Ct 菌) が植物に与える共生効果と病原性効果の検証. ○伊東梓帆¹・荒巻徹¹・山崎裕司²・辻本壽²・花田耕介¹ (1. 九州工業大花田研, 2. 鳥取大辻本研)

P10 病原菌耐性を強化する新規分泌ペプチドの探索. ○早瀬尚人・近藤隆之・白井一正・吉野太雅・矢野俊通・花田耕介 (九州工業大学花田研)

P11 異種染色体を添加した際に生じる発現プロファイルの変化. ○豊留龍也¹・田中啓介²・小林久人²・辻本壽³・岡本昌憲⁴・武田智之¹・白井一正¹・花田耕介¹ (1. 九州工業大学, 2. 東京農業大学, 3. 鳥取大学, 4. 宇都宮大学)

P12 多面的機能を持つシトクロム P450 モノオキシゲナーゼ CYP78A ファミリーの解析. ○松嶋直哉・信澤岳・草場信 (広島大統合生命)

P13 新規マルチターゲットゲノム編集ベクターによるレタスの高効率変異導入. ○伊藤岳・山谷浩史・信澤岳・草場信 (広島大)

P14 マルチスペクトルカメラを用いた *Phedimus* 属 F₁ 雑種集団の表現型解析. ○梶妙子^{1,2}・山崎裕司³・岩田洋佳⁴・佐々木剛志⁴・石森元幸⁴・高梨秀樹⁴・辻本壽³ (1. 鳥取大学大学院連合農学研究科, 2. (株)フジタ,

3. 鳥取大乾地研, 4. 東京大)

P15 生育時の高温処理がパンコムギの高温発芽能力と脂肪酸組成に及ぼす影響. ○松永幸子¹・アリザメグミ²・山崎裕司³・明石欣也²・辻本壽³ (1. 鳥取大院・連農, 2. 鳥取大・農, 3. 鳥取大・乾地研)

P16 パンコムギの高温発芽能力に及ぼす遺伝子及び環境の影響. ○塚田美彩子¹・辻本壽² (1. 鳥取大院・持続性社会創生, 2. 鳥取大・乾地研)

P17 コムギ近縁種由来のエピクロエ・エンドファイトとパンコムギの共生がコムギの形態や代謝物に及ぼす影響. ○加藤颯真¹・W.R. Simpson²・R.D. Johnson²・児玉基一郎³・石井孝佳⁴・宇部尚樹⁴・辻本壽⁴ (1. 鳥取大学持続性社会創生研究科, 2. AgReserch New Zealand, 3. 鳥取大学連合農学研究科, 4. 鳥取大学乾燥地研究センター)

P18 未利用遺伝資源を用いたリン節肥性コムギの特徴. ○山崎裕司¹・Yasir S.A. Gorafi¹・Izzat S.A. Tahir²・辻本壽¹ (1. 鳥取大学乾燥地研究センター, 2. スーダン農業研究機構)

P19 オオムギ品種「カシマムギ」と「イシュクシラズ」に見出された新規出穂期関連 QTLs の解析. ○西田英隆¹・矢島沙織²・佐藤桃²・青木恵美子³・加藤鎌司¹ (1. 岡山大院環境生命, 2. 岡山大農, 3. 作物研)

P20 オオムギ *HvELF3* 及び *HvPhyC* が圃場出穂日に及ぼす効果の解析. ○矢島沙織¹・加藤鎌司²・西田英隆² (1. 岡山大農, 2. 岡山大院環境生命)

P21 *HvCEN* 遺伝子型が異なるオオムギ系統における出穂期関連遺伝子の発現解析. ○岩本健・横田真吾・田部涼太・加藤鎌司・西田英隆 (岡山大院環境生命)

P22 コムギ系統「超極早生」が保有する「ミナミノコムギ」由来早生遺伝子の解析. ○寺尾優太¹・桂木絢野²・西田英隆¹・加藤鎌司¹ (1. 岡山大院環境生命, 2. 岡山大農)

P23 メロンつる割病抵抗性遺伝子における選抜マー



優秀発表賞受賞者

上段左から、福嶋七海氏、伊藤岳氏、小島望美氏、
下段左から、白井一正氏、豊留龍也氏、Mohammed Yousif Balla Abdalla 氏。

カーの開発と機能的配列変異の解析. ○高橋茉未¹・大寺宇織²・田中克典³・西田英隆¹・加藤鎌司¹ (1. 岡山大院・環境生命, 2. 茨城農総セ・生工研, 3. 弘前大・農生命)

P24 コムギのRH (Radiation Hybrid) 集団を用いた早生遺伝子 *PCL1-3B* の遺伝解析. ○仁科友希¹・西田英隆¹・那須田周平²・加藤鎌司¹ (1. 岡山大院環境生命, 2. 京都大院農)

P25 パンコムギの早生遺伝子によるデュラムコムギの早生化に関する研究. ○水江太誠¹・G.F. Luo²・西田英隆²・加藤鎌司² (1. 岡山大農, 2. 岡山大院環境生命)

P26 Uneven distribution of melon landraces resistant to Melon Necrotic Spot Virus (MNSV). ○O.N. Imoh¹, T.P. Dung¹, M.N. Pervin¹, G. Shigita¹, K. Tanaka², H. Nishida¹, K. Kato¹ (1. Grad. Sch. Environ. Life Sci., Okayama U., 2. Fac. Agr. Life Sci., Hirosaki U.)

P27 メロンと *Cucumis* 属野生種の雑種作出および染色体数倍加の試み. ○長井朋美¹・嶋田玄太郎^{2,3}・Tran Phuong Dung²・Mst. Naznin Pervin²・田中克典⁴・西田英隆²・加藤鎌司² (1. 岡大農, 2. 岡大院環境生命, 3. ミュンヘン工科大, 4. 弘前大農生命)

〈四国地区〉

第85回日本育種学会四国談話会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から当初予定を変更し、一般公演は12月14日～25日、特別公演は2月22日～26日に、高知大学村井正之氏を大会委員長としてメール会議方式で実施された。

一般公演

今治地域におけるさといも品種「愛媛農試V2号」の収量性にかかる技術指導の方向性について
浅海英記¹ (発表者)・徳永英行¹・越智研介²・宇高昇平²・渡部帆乃香² (1. 愛媛県今治支局地域農業育成室, 2. 越智今治農業協同組合)

特別講演

1. 穂を大きくする *Urf* 遺伝子を有する稲の極多収系統の収量について
村井正之¹・上向井美佐² (1. 高知大学名誉教授, 2. 愛媛大学大学院連合農学研究科)
2. *Urf* 遺伝子を有する稲の極多収系統の食味に関する研究, および, 各系統の特性 (まとめ)
村井正之¹・上向井美佐²・永野邦明³ (1. 高知大学名誉教授, 2. 愛媛大学大学院連合農学研究科, 3. 東北福祉大学感性福祉研究所)
3. 高齢者の介護食用の軟飯に適する稲の品種候補について
村井正之¹・上向井美佐² (1. 高知大学名誉教授, 2. 愛媛大学大学院連合農学研究科)

〈九州・沖縄地区〉

第15回日本育種学会九州沖縄育種談話会が、2020年12月19日(土)13:00～16:40にオンラインで開催された(運営委員長 一谷勝之)。本談話会では、招待講演者6名と参加者76名の合計82名が参加し、講演内容等について活発な意見交換が行われた。また講演会のあとには、一般と学生参観者の2グループでオンライン懇談会を開催した。一般懇談会では講演内容についての追加質問や、今後の談話会の在り方についての議論を行い、学生の部では自己紹介や研究紹介を行い、参加者間の交流を図った。

講演演題は以下のとおり。

〈講演〉

1. 山本宗立 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター) アジア・オセアニアの唐辛子の遺伝資源および文化資源について
2. 太郎良和彦 (沖縄県農業研究センター研究企画班バイオテクノロジーグループ) 沖縄農作物の育種効率化を目指した沖縄県の取り組み
3. 山中慎介 (国際農林水産業研究センター熱帯・島嶼研究拠点) 国内保有マンゴー遺伝資源の多様性
4. 梅田周 (九州沖縄農業研究センター作物開発利用研究領域さとうきび育種グループ) サトウキビ野生種を用いた品種育成～サトウキビ研究の今昔物語～
5. 平良英三 (琉球大学農学部農産施設工学研究室) 分光技術および画像解析によるサトウキビの非破壊計測
6. 小宮怜奈 (沖縄科学技術大学院大学サイエンス・テクノロジーグループ兼 JST さきがけ) イネの生殖制御を担う多彩な non-coding RNA

日本育種学会会員異動(2020.10.21～2021.04.20)

- ◇普通会員入会：小泉恵美子 (北海道), 杉村悠作 (岩手県), 安達成美 (山形県), 赤間剛, 小林安文, 山川博幹, 和田楓 (茨城県), 牧本梨奈 (群馬県), 権娟大, 後藤隆男, 橋本順子 (東京都), 内海好規, 徳永浩樹, 森山俊介 (神奈川県), 深尾武司 (福井県), 中野道治 (広島県), 阿部大吾 (香川県)
- ◇学生会員入会：曳地究, 若林妙恵, MYINT ZIN MAR (北海道), 五十嵐秀成 (青森県), 秋田谷茉那, 孫慧練 (岩手県), 福島和紀, 星川陽平, 森萌香 (宮城県), 壹岐友里恵, 桑原康介, 堤遥香 (茨城県), 近藤悠 (千葉県), 射場木萌春, 岡崎里美, 椎名裕也, 陳泰伸, 山崎若菜, IMIHAMI MUDIYANSELAGE ASANGA DESHAPPRIYA NAGALLA (東京都), 遠藤俊晴, 真弓彩夏 (神奈川県), 川又美祐 (新潟県), 小林由季, 村田千祥 (福井県), 清水諒 (長野県), 赤星良輔, 神野恭輔, 寧佳陽, ブイ・テ・フィン, 森拓也, REYES

VINCENT PAMUGAS (愛知県), 小笠原実希, 孫櫻, 野口微風子 (兵庫県), 平山文華 (奈良県), 小島望美, 長井朋美, 福嶋七海, 矢島沙織, IMOH ODIRICHI (岡山県), トウ・フンカン (広島県), MD MOSTOFA KAMAL (佐賀県), 奥野元輝, 加藤木高広 (熊本県), 土師丈太郎 (宮崎県)

住所変更等

◇普通会員：田宮誠司, 宮路直実 (岩手県), 別所 (上

原) 奏子 (宮城県), 鈴木保宏, 田口和憲, 鶴田燃海, 松元哲, 吉田沙樹 (茨城県), 青木恵美子, 鐘ヶ江弘美, 白柿薫平, 林武司, 若生忠幸 (東京都), 西村実, 山本英司, 横田侑子 (神奈川県), 角井宏行 (新潟県), 森中洋一 (福井県), 山内卓樹 (愛知県), 西澤けいと, 吹野伸子 (三重県), 竹中祥太郎, 三柴啓一郎, 和田卓也 (滋賀県), 船附秀行 (京都府), 吉岡資洋 (兵庫県), 神津拓人 (岡山県), 高橋宙之, 山口誠之 (福岡県)

◇学生会員：大久保日奈 (茨城県)